

既存のCBWネットワークへのAPまたはMEの追加

目的

この記事では、既存のCisco Business Wireless(CBW)ネットワークにプライマリ対応アクセスポイント(AP)またはメッシュエクステンダ(ME)を追加する方法について説明します。

該当するデバイス | ファームウェアのバージョン

- CBW 140AC([データシート](#)) | 10.6.1.0([最新のダウンロード](#))
- CBW 145AC([データシート](#)) | 10.6.1.0 ([最新のダウンロード](#))
- CBW 240AC([データシート](#)) | 10.6.1.0 ([最新のダウンロード](#))
- CBW 141ACMメッシュエクステンダ ([データシート](#)) | 10.6.1.0 ([最新のダウンロード](#))
- CBW 142ACMメッシュエクステンダ ([データシート](#)) | 10.6.1.0 ([最新のダウンロード](#))
- CBW 143ACMメッシュエクステンダ ([データシート](#)) | 10.6.1.0 ([最新のダウンロード](#))

目次

- [セットアップに重要](#)
- [新しいプライマリ対応APの追加](#)
- [メッシュエクステンダの追加](#)
 - [追加のメッシュエクステンダの追加](#)
 - [あるネットワークから別のネットワークにMEを移動する](#)
 - [最初のメッシュエクステンダを追加します](#)

概要

CBWネットワークが稼働していて、素晴らしいことです。次に、別のAPまたはMEを追加します。さあ、行こう！

セットアップに重要

- 新しいAPまたはMEは、同じVLAN/サブネット上にある必要があります。
- 後でスタティックアドレスに変更する予定の場合でも、初期インストールプロセスでDHCPサーバをオンにします。

新しいプライマリ対応APの追加

APを別の既存ネットワークから移動する場合は、工場出荷時のリセットを実行して、[古い設定](#)を消去する必要があります。

新しい140AC、145AC、または240AC APを接続します。新しいAPのファームウェア

は、別のAPから引き出すことで自動的に更新されます。更新されると、新しいAPがネットワークに参加します。それくらい簡単だ！

メッシュエクステンダの追加

新しい141ACM、142ACM、または143ACM MEを追加する前に、プライマリAP Web UIで行う必要がある作業がいくつかあります。

- [許可リストにMEのMACアドレスを追加します](#)
- [メッシュ]が有効になっていることを確認してください。これは、[ワイヤレス設定] > [メッシュ]で確認できます。

追加のメッシュエクステンダの追加

ネットワーク上で少なくとも1つのMEが起動して実行されている場合は、この時点で新しいMEを追加するのが簡単です。入る！ファームウェアが更新され、ネットワークに参加します。

あるネットワークから別のネットワークへのMEの移動

別のネットワークからMEを削除する場合は、新しいネットワークに接続する前に、[工場出荷時のリセット](#)を実行する必要があります。これがネットワーク上に最初に存在するMEの場合は、次のセクションの手順に従います。これがネットワークの最初のMEでない場合、既存のMEが新しいMEにソフトウェアを提供するため、接続するだけで済みます。

最初のメッシュエクステンダを追加します

既存のネットワークにMEがない場合は、追加の手順がいくつかあります。すぐに、最初のメッシュエクステンダには、プライマリ対応APがすでにインストールされているファームウェアよりも古いファームウェアが存在する可能性があります。これにより、ネットワークへの参加が妨げられます。

インターネットに接続している場合は、Cisco.comから自動更新するようにソフトウェアの更新を設定できます。

Cisco.comによるソフトウェアのアップデート

最も簡単な方法として、Cisco.comからソフトウェアをアップデートすることが推奨されます。

手順 1

[転送モード(Transfer Mode)]ドロップダウンリストから、[Cisco.com]を選択します。

Transfer Mode	Cisco.com
Automatically Check For Updates	HTTP
Last Software Check	TFTP
Latest Software Release	SFTP
	Cisco.com

手順 2

ソフトウェアの更新を自動的に確認するようにプライマリAPを設定するには、[更新を自動的に確認(*Automatically Check for Updates*)]ドロップダウンリストで[有効(*Enabled*)]を選択します。このコマンドはデフォルトで有効になっています。

Transfer Mode	Cisco.com
Automatically Check For Updates	Enabled

手順 3

[Save] をクリックします。これにより、[転送モード]フィールドと[更新の自動チェック]フィールドで行ったエントリまたは変更が保存されます。

Software Update

Version 10.4.1.0

Transfer Mode	Cisco.com	
Automatically Check For Updates	Enabled	
Last Software Check	Sat Feb 27 04:40:25 2021	Check Now
Latest Software Release	Up-to-date	?
Recommended Software Release	Up-to-date	?

Save Update Abort

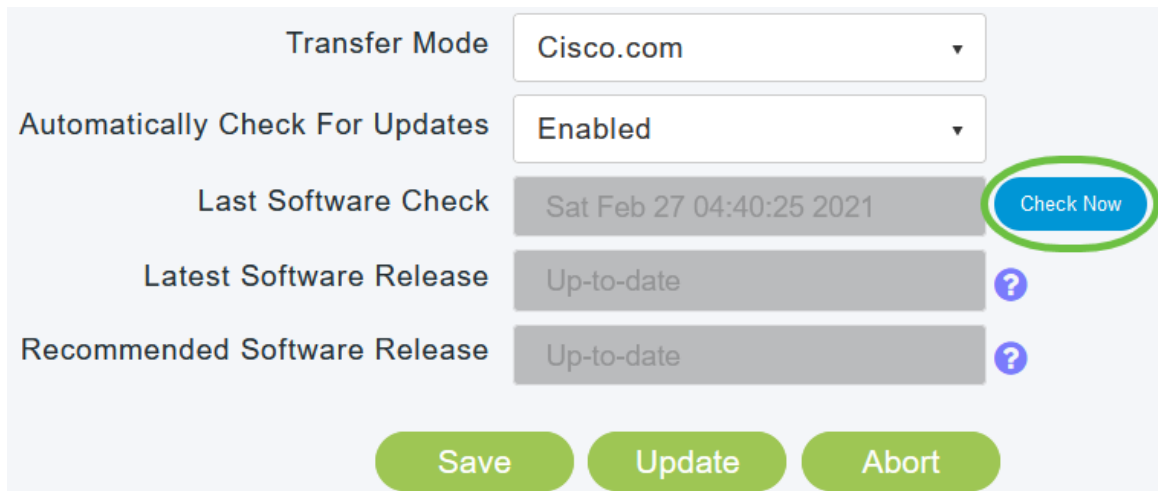
[Last Software Check]フィールドには、最後の自動または手動ソフトウェアチェックのタイムスタンプが表示されます。表示されたリリースのリリースノートを表示するには、「?」をクリックします。アイコンをクリックします。

Software Update

Version 10.4.1.0

手順 4

[今すぐチェック]をクリックすると、ソフトウェアチェックをいつでも手動で実行できます。

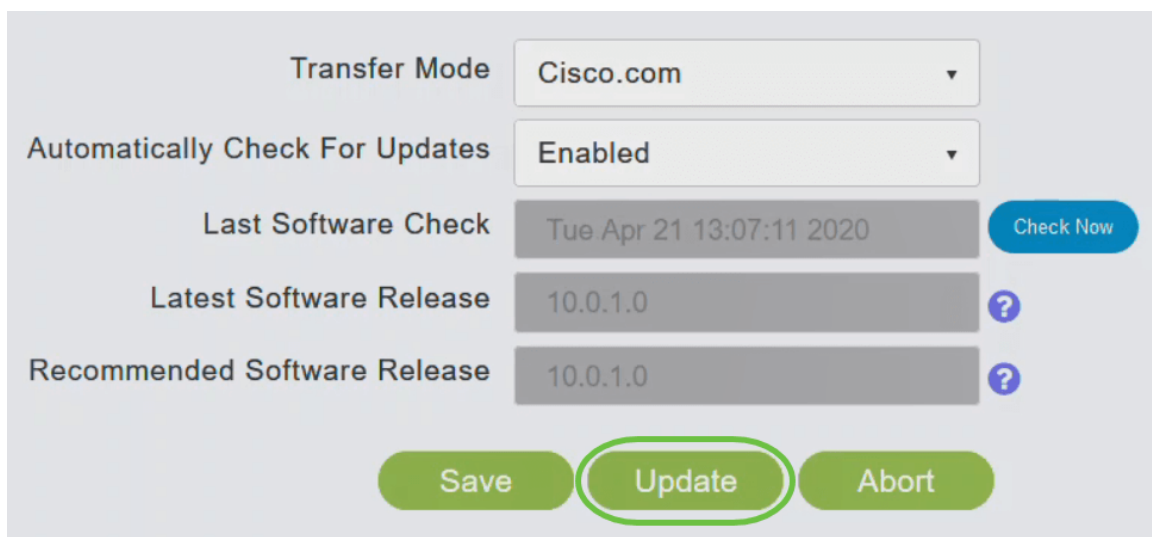


The screenshot shows a configuration page for software updates. It includes the following elements:

- Transfer Mode:** A dropdown menu set to "Cisco.com".
- Automatically Check For Updates:** A dropdown menu set to "Enabled".
- Last Software Check:** A grey bar displaying "Sat Feb 27 04:40:25 2021". To its right is a blue button labeled "Check Now", which is circled in green.
- Latest Software Release:** A grey bar displaying "Up-to-date" with a question mark icon to its right.
- Recommended Software Release:** A grey bar displaying "Up-to-date" with a question mark icon to its right.
- Bottom Buttons:** Three green buttons labeled "Save", "Update", and "Abort".

手順 5

ソフトウェアの更新を続行するには、[更新]をクリックします。



The screenshot shows the same configuration page as in Step 4, but with the following changes:

- Last Software Check:** A grey bar displaying "Tue Apr 21 13:07:11 2020". To its right is a blue button labeled "Check Now".
- Latest Software Release:** A grey bar displaying "10.0.1.0" with a question mark icon to its right.
- Recommended Software Release:** A grey bar displaying "10.0.1.0" with a question mark icon to its right.
- Bottom Buttons:** Three green buttons labeled "Save", "Update", and "Abort". The "Update" button is circled in green.

[ソフトウェア更新ウィザード]が表示されます。このウィザードでは、次の3つのタブを順に選択できます。

- [リリース(Release)]タブ：推奨ソフトウェアリリースまたは最新ソフトウェアリリースのどちらにアップデートするかを指定します。
- [Update]タブ：APをいつリセットするかを指定します。すぐに実行するか、後でスケジュールするかを選択できます。イメージのプレダウロードが完了した後にプライマリAPが自動的にリブートするように設定するには、[Auto Restart]チェックボックスをオンにします。
- [Confirm]タブ：選択内容を確認します。

ウィザードの指示に従います。[確認]をクリックする前に、いつでも任意のタブに戻ることができます。

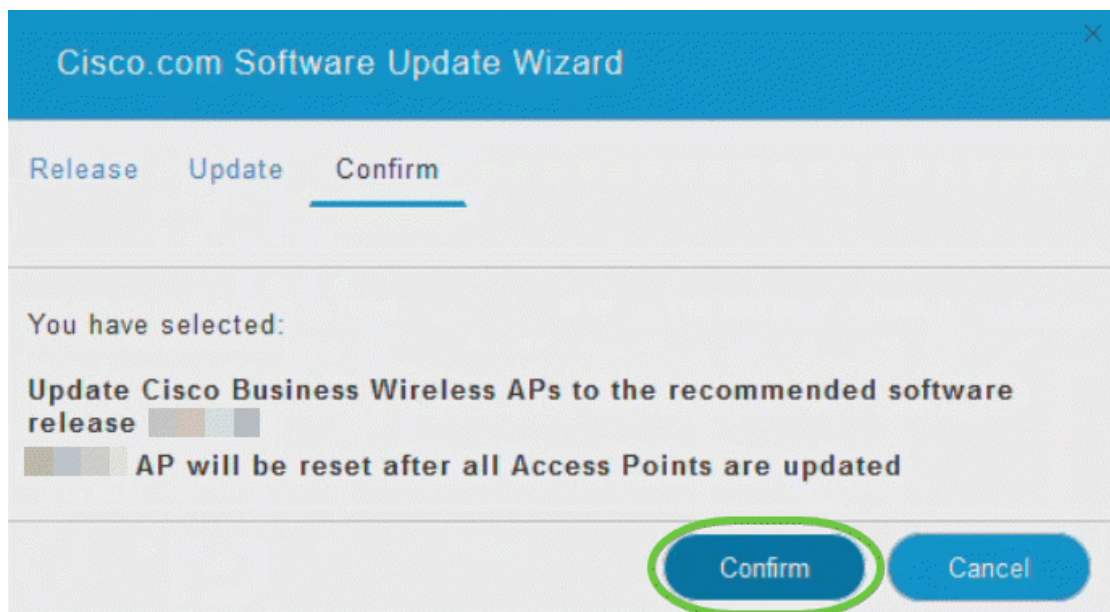
Release

Update

Confirm

手順 6

[確認]をクリックします。



[ソフトウェアの更新]ページで、更新の状態と進行状況を監視できます。更新が進行すると、次のデータが表示されます。

- ネットワーク内のAPの総数。
- 次のAPの数：
 - 更新を開始しました
 - 現在更新中
 - 更新を完了しました
 - 更新されるのを待っています。
 - 更新できませんでした。

また、各APでは、次のデータを使用して更新の進行状況も表示されます。

- AP名
- ダウンロード割合 (カラー)
- 最終更新日エラー
- 状態 – ソフトウェアのプレダウンロード、完了、または失敗
- 再試行

▼ Predownload Image Status

Total Number of Aps	5
Number of APs initiated	0
Number of APs Currently Being Updated	2
Number of APs Completed	3
Number of APs that are waiting/failed	0

Q Search

AP Name	AP Type	AP Location	Download Percentage	Last Update Error	State	Retry Attempts
*AP4CBC.48C0.74B8	PrimaryAP	default location	100%	NA	Completed	N/A

[Abort]をクリックすると、プライマリAPのリポートが完了する前にいつでも進行中のソフトウェア更新を中止できます。

Transfer Mode	Cisco.com	▼
Automatically Check For Updates	Enabled	▼
Last Software Check	Sat Feb 27 04:40:25 2021	Check Now
Latest Software Release	Up-to-date	?
Recommended Software Release	Up-to-date	?

Save Update **Abort**

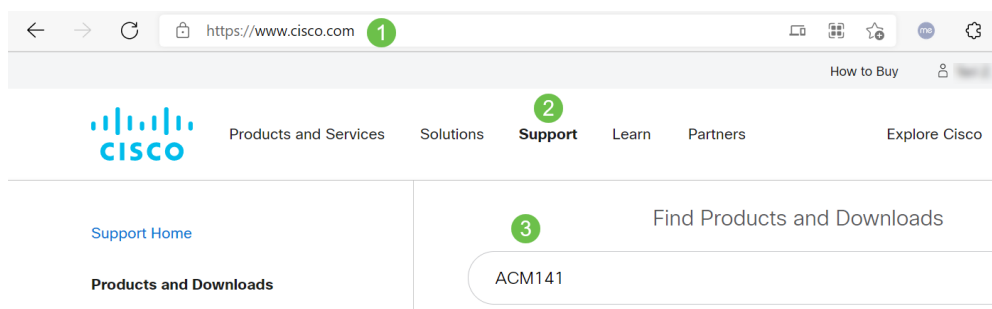
アップデートはシンプルで自動的です。ただし、ネットワークをステージング領域として使用している場合は、HTTPを使用して更新することもできます。

HTTPを使用したソフトウェアの更新

2番目のオプションとして、次の手順に従ってソフトウェアを更新します。

手順 1

[cisco.com](https://www.cisco.com)に移動します。Webサイトで、[サポート]をクリックします。追加するMEに応じて、ACM141、ACM142、またはACM143を入力します。キーボードのEnterキーを押します。ドロップダウンメニューが開きます。[Product Support]をクリックします。



手順 2

[ダウンロード]を選択し、利用可能な最新バージョンを選択します。

Documentation Downloads Community

1

Software Available For This Product

Business Wireless Access Point Software

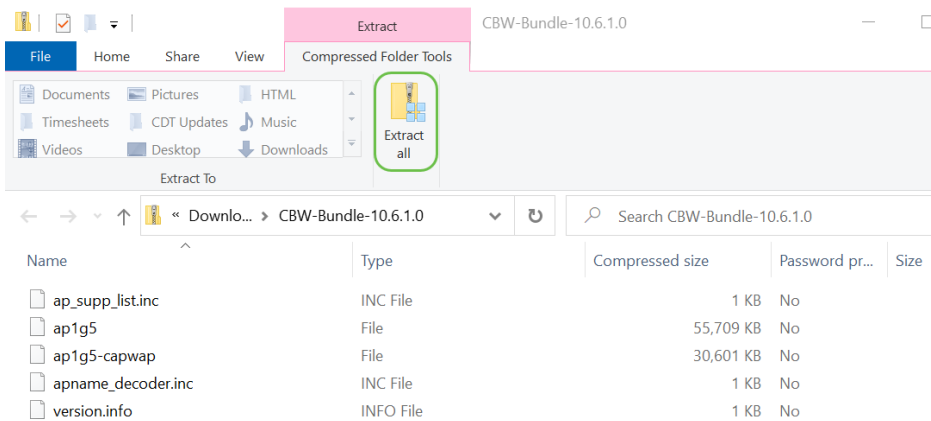
Latest Release

10.6.1.0	2 Downloads Details
10.4.1.0	Downloads Details

手順 3

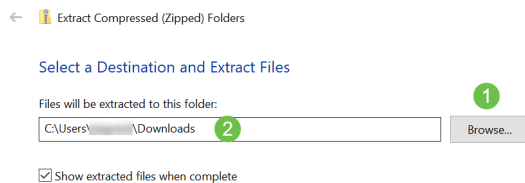
PCでファイルを展開します。プロセスは異なる場合があります。

この例では、Windowsがオペレーティングシステムで、7-Zipがファイルの抽出に使用されます。「ダウンロード」に移動します。CBWバンドルを選択し、「すべて抽出」をクリックします。



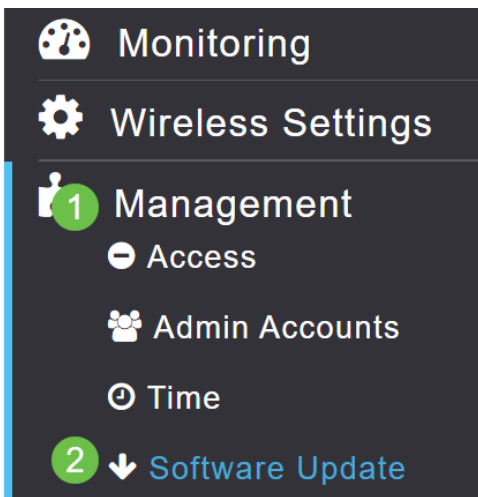
手順 4

[Browse] をクリックします。抽出されたファイルに使用するフォルダを選択します。「抽出」をクリックします。



手順 5

プライマリAPのWebユーザインターフェイス(UI)で、[Management] > [Software Update]に移動します。



手順 6

転送モードとして[HTTP]を選択します。Mesh Extender Imageをオンに切り替えます。PCからap1g5-capwapの形式でファイルを追加します。HTTP経由で最初のメッシュエクステンダをアップデートするには、プライマリAPに少なくともファームウェアバージョン10.3.1.0をインストールする必要があります。

メッシュエクステンダは、プライマリAPの前に更新する必要があります。

準備は万端です。追加するMEが増えていませんか。突っ込むんだ！追加のメッシュエクステンダは、インストールしたMEから正しいファームウェアバージョンを取得するだけです。

結論

ワイヤレスネットワークの拡張をお楽しみください。

簡単な質問Cisco Business Wireless Appを使用してワイヤレスネットワークを管理していますか？これは優れたツールであり、管理を迅速に維持するのに役立ちます。[Cisco Business Wireless Appに精通するか、App StoreまたはGoogle Playからアプリをダウンロードしてください。](#)